

ブラウザを作る

WebBrowser コントロールを使うと IE のエンジンを使ってオリジナルのブラウザを作れる。今回の演習では VB でオリジナルのブラウザを作ってみる。

最も単純なブラウザを作る

Microsoft Internet Controls の追加

まず、VB で新しいプロジェクトを作り、Microsoft Internet Controls コントロールを追加します。

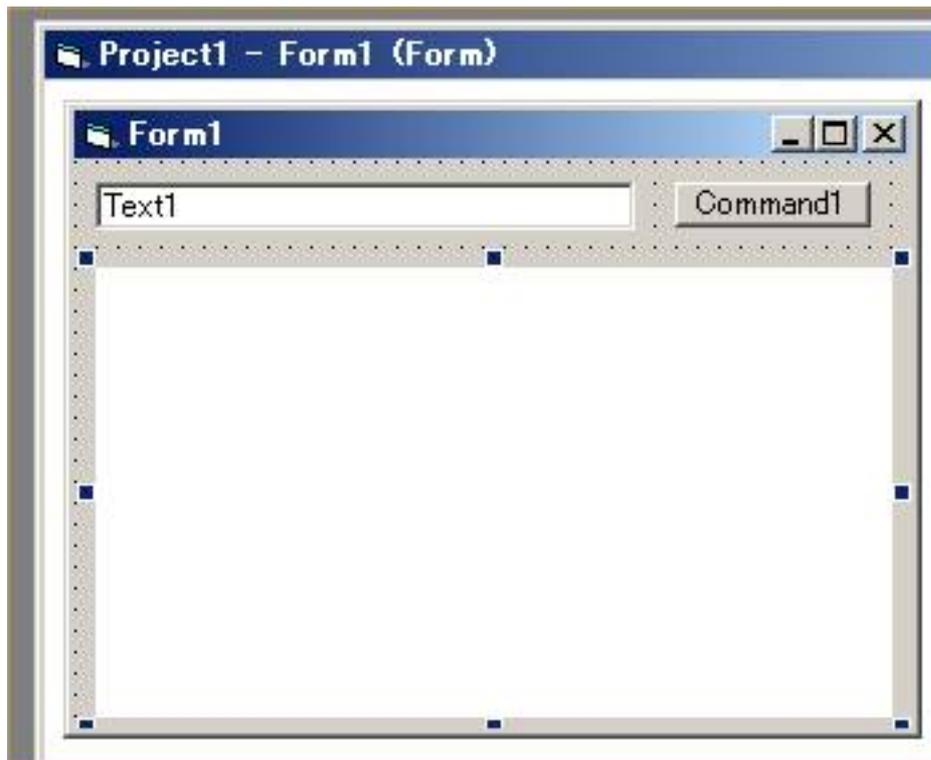


ツールボックスにコンポーネントが表示されます。



Form にコンポーネントを配置する

ここでは TextBox、Command Button、WebBrowser のコンポーネントを配置します。



TextBox の Text プロパティは空欄にしておきます。

コードの追加

Command Button をクリックしたら TextBox に入力された URL を表示するようにプログラムします。

```
Private Sub Command1_Click()  
    ' TextBox が空白以外の時に URL を開く  
    If Text1.Text <> "" Then  
        WebBrowser1.Navigate Text1.Text  
    Else  
        WebBrowser1.Navigate "about:blank"  
    End If  
End Sub
```

実行します。

TextBox に適当な URL を入力し、CommandButton をクリックします。



WebBrowser コントロールの主なプロパティやメソッド

くわしくは[ここ](#)を参照(ただし、英文)。

| メソッド | 動作 |
|-----------|---------------|
| GoBack | 戻る |
| GoForward | 進む |
| GoHome | ホームに戻る |
| GoSearch | サーチエンジンに移動する |
| ExecWB | コマンドを実行する。 |
| Refresh | 再読込 |
| Stop | 停止 |
| Navigate | 指定した URL を開く |
| プロパティ | 意味 |
| Top | コンポーネントの上部の位置 |
| Left | コンポーネントの左側の位置 |
| Height | コンポーネントの高さ |
| Width | コンポーネントの幅 |

プロパティやメソッドは次のように使う。

```
WebBrowser1.GoBack
WebBrowser1.Height = Form1.Height - 10
```

ExecWB メソッドの引数

印刷、コピーなどを実行できる。

| 引数 | 意味 |
|-----------------|----|
| OLECMDID_SAVEAS | 保存 |

| | |
|------------------------------|---------|
| <u>OLECMDID_PRINT</u> | 印刷 |
| <u>OLECMDID_PRINTPREVIEW</u> | 印刷プレビュー |
| <u>OLECMDID_CUT</u> | 切り取り |
| <u>OLECMDID_COPY</u> | コピー |
| <u>OLECMDID_PASTE</u> | 貼り付け |
| <u>OLECMDID_SELECTALL</u> | すべてを選択 |
| <u>OLECMDID_ZOOM</u> | 文字の拡大 |

WebBrowser1.ExecWB OLECMDID_SAVES, OLECMDEXECHOPT_DODEFAULT

演習

上記で指定した URL の表示ができますが、ブラウザとしては不十分です。次のような機能を追加してください。

PDFJ::Text=HASH(0x8bc2914)、PDFJ::Text=HASH(0x8bcd60)、PDFJ::Text=HASH(0x8bd4fc4) などのボタンを追加する。

複数のコマンドボタンを配置し、それぞれの動作に対する WebBrowser のメソッドを指定する。

戻ると進むではそれ以上に表示するページがないと実行時エラーになる。これを回避するには On Error Goto ステートメントを使う。

```
Private Sub Command3_Click()
' これ以降で実行時にエラーが発生したらラベル Err: へ処理を移動する
On Error GoTo Err
WebBrowser1.GoForward
Exit Sub
' 実行時エラーがあったときの処理
Err:
MsgBox " これ以上進めません "
End Sub
```

ボタンに画像を表示する。

CommandButton のあるプロパティ (Picture) を画像ファイルにする。また、スタイルプロパティを 3 グラフィックする。

表示領域の大きさをウィンドウの大きさに合わせて変化させる。

Form の大きさが変わると Form の Resize メソッドが実行されるのでここで WebBrowser の幅と高さを Form の幅と高さから求めればよい。

入力した URL を記録する。

Listbox や Combobox を使う。項目を追加するには AddItem メソッドを使う。

その他

- ・ アドレス欄で Enter キーを押すとその URL のページが表示されるようにする。
- ・ 事前に URL を Listbox に登録しておく。
- ・ URL をファイルに保存する。
- ・ タブブラウザにしてみる。
- ・ などなど

作成したプログラムと関連するすべてのファイルを圧縮フォルダにまとめ提出する。

圧縮フォルダの作り方

1. 圧縮フォルダにしたいファイルをすべて選択する。
2. マウスの右ボタンをクリックし、メニューの送るの中の圧縮フォルダを選択する。